

図書室でお仕事している人にお話を伺いました！

追分と早來の公民館図書室には計4名がスタッフとして働いています。今回は、その中でも両図書室で働く2人の司書の方にお話を伺いました。



岩井 昌子さん（早來公民館図書室勤務）

「雑談を通して本をおすすめすることもあります」と話してくれた岩井さん。

利用者さんとのコミュニケーションを通して、おすすめの本を提案することもしばしば。「何を借りようかな？」と悩んだときは迷わず雑談してみても♪

太西 禎子さん（追分公民館図書室勤務）

「本と人を繋げていくことが、私たちの仕事なんです」と話してくれた太西さん。

受付前にある図書コーナーは、社会問題や季節感を大事にしつつ、選書（展示する本を並べること）するのはいつも必死。ぜひチェックしてみてください！



まずは遊びに来て欲しい。

「図書室に来る＝本を借りて帰らないと気まずい」と思っている方もいらっしゃるかと思います。

もちろん、図書室は本の貸出場所ではありますが、まずは、皆さんに来て欲しいと思っています。「あの本を借りるんだ！」と意気込んで来てくれても嬉しいですが、「何となく散歩の途中に立ち寄った」という理由でも、足を運んでくれるだけで嬉しいものです。

きっと「何となく」という思いからでも、気になる本がきっとあるはず…。



本にふれる時間を作ってもらえたら。

新しい生活様式のもと、外出を避け、お家の中で過ごす時間が例年よりも長い方も多はず。のんびり過ごす時間に、インターネットやゲームをすることももちろん楽しいけれど、少しでも良いので、本・活字にふれてみて欲しいなど。

近頃は、電子メディアの発達に伴い、紙媒体離れと言われていきます。しかし、あの紙をめくるという感覚は、紙でしか味わえないはず。「手に取る本、全て紙媒体で」とは言いません。その中でも特に気になる本だけでも、紙の本でページをめくってみませんか？

